

Information

「2017ライフサイエンス知財フォーラム」

再生医療がもたらす知財戦略と事業戦略のパラダイムシフト～産官学連携で実現する未来の医療～

2017年2月7日午後1時から東京・御茶ノ水 ソラシティカンファレンスセンターにて「2017ライフサイエンス知財フォーラム」を開催します。

2007年秋、ヒト人工多能性幹細胞(iPS細胞)が初めて報告されてから約10年、再生医療分野は目覚ましい発展を遂げ、また、2014年の薬事法から医薬品医療機器等法への改正により、医薬品や医療機器とは別に「再生医療等製品」を新たに定義し、その特性を踏まえた制度等が設けられました。これらを経て、2015年度、2つの再生医療等製品が承認されるまでに至っています。

現在主流となっている低分子医薬、抗体医薬を中心とする創薬研究の進歩はいずれ限界に達し、再生医療や遺伝子治療といった新しい技術が医療の一端を担う時代がすぐそこにきています。一方、この再生医療の発展を支える知的財産の観点からは、検討すべき課題が数多く残されています。従来の創薬研究のような、1つの有効成分を1つの特許で、1製品を1社の技術で保護するビジネスモデルは再生医療分野では難しくなっています。また、適切な特許保護のためには、国ごとに異なる特許制度を考えて特許戦略を考える必要があります。再生医療の発展、ひいては未来の医療制度の充実のために、特許制度の整備と事業化のための知的財産戦略作りは欠かせません。

本フォーラムでは、再生医療分野の研究動向や将来の方向性、アカデミアや製薬企業の取り組みと知的財産保護の望ましい姿、産業界とアカデミアとの連携のあり方、特許制度や医薬品承認制度等における今後の課題等、産官学を代表する方々に、垣根を越えて議論していただきます。

● 実施概要

| 日時 | 2017年2月7日(火)

| 場所 | ソラシティカンファレンスセンター：東京都千代田区神田駿河台4-6

| フォーラム | 午後1時～午後5時(参加費無料) ※講演者、パネリスト、内容等は変更になる場合があります。

● プログラム(敬称略)

▶ 基調講演

パーキンソン病に対するCell-based therapy

京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 教授 高橋 淳

▶ 一般講演

再生医療の更なる充実に向けた政策展開

経済産業省 商務情報政策局 生物化学産業課長 西村 秀隆

再生医療等製品の承認審査の現状と今後の方向

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課長 磯部 総一郎

ハートシートの開発と知財戦略

テルモ株式会社 執行役員 ハートシート事業室長 鮫島 正

iPS細胞の医療応用・現状と課題

京都大学 iPS細胞研究所 副所長・医療応用推進室長 教授 高須 直子

再生医療分野における特許とは?～その戦略と課題～

日本製薬工業協会 知的財産委員会委員長 /
大日本住友製薬株式会社 知的財産部長 藤田 一司

▶ パネルディスカッション

〈コーディネーター〉

藤田 一司

〈パネリスト〉

高橋 淳 / 西村 秀隆 / 磯部 総一郎 / 鮫島 正 / 高須 直子

[お問合せ先]

2017 ライフサイエンス知財フォーラム準備委員会事務局

(日本製薬工業協会 知的財産委員会 担当：青天目 / 藤井)

Tel. 03-3241-0335 Fax. 03-3242-1767

E-mail: ip-forum2017@jpma.or.jp